2018年2月28日

プライバシーとデータ保護に対するIpsosのコミットメント

背景

2018年5月25日発効の欧州連合一般データ保護規制(General Data Protection Regulation、**GDPR**)は、欧州連合（EU）や、その他世界の数多くの国々においてかねてより施行されていた保護措置の枠を超え、個人のプライバシーの権利を保護するという観点で、さらに革新的なステップとしての役割を果たすものです。例えば、「同意」、「忘れられる権利」、利用できる個人情報のタイプと量、データへのアクセス、およびセキュリティ、などに関してこれまで以上に厳しい制限措置が設置されます。

それゆえ、イプソスは市場調査業界のリーダーとして、また生活者に関する情報の提供者として、いかなる場合においても個人情報の保護を最優先事項として扱っています。イプソスは、**市場調査企業として登録されている企業に適用される専門機関行動規範**（市場、意見および社会調査およびデータ分析に関するICC / ESOMAR国際コード）のガイダンス、要件のほか、特に調査回答者の情報に関わる部分では現地で現在施行されている全ての規制に準拠しています。

また、イプソスは長年、運営事業に**4Sアプローチ**を適用して参りました。4Sは、**安全（Security）、シンプル（Simplicity）、スピード（Speed）、意味ある内容（Substance）**を表しており、ITセキュリティと情報管理ポリシーとともに、イプソスのポリシーの構成要素として必要不可欠なものです。

Ipsosは、顧客、調査回答者、従業員の個人情報の保護と安全措置・保護を保証するため、積極的な取り組みを行ってきました。そのため、イプソスは昨年、**複数の専門分野のチーム**（CPOことチーフ・プライバシー・オフィサーのほか、IT、法務、人事、マーケティング＆コミュニケーション部門）**が率いるグローバル・プライバシー・プログラム**をスタートしました。まず欧州経済圏（EEA）諸国に焦点を合わせ、2018年5月25日までにGDPRへの準拠を達成できるよう、取り組みを進めています。また、2018年末までには、イプソスは事業を展開している89か国全てにおいても、GDPRの要件を満たす予定です。

これまで、イプソスはGDPRに準拠するために、数多くの対応措置を講じてきました。こういった対応措置は、主として、以下を含みますがこれらに限定されません：

１．　グローバル・チーフ・プライバシー・オフィサー（CPO）と現地のデータ・プライバシー・オフィサー（DPO）の任命

2017年3月1日、イプソスは、Rupert van Hüllenをグローバル・チーフ・プライバシー・オフィサー(CPO)に任命しました。

CPOは、データ保護・プライバシーへのコンプライアンスに向けた、世界各地でイプソスが実行すべき取り組みを指導・調整するほか、イプソスが事業を展開する各国にて任命された、現地のデータ・プロテクション・オフィサー（DPO）を管理する役割を担っています。

２．　データの匿名化、およびアクセスのセキュリティ

― 調査回答者のために行っていること：

イプソスは、データ収集業務の一環として、回答者の個人情報を**匿名化技術**で保護しています。これによって、これらの情報へのアクセスは制限され、**知る必要がある場合にのみ**、オペレーションユニットの実査チームだけがアクセスできるようになっています。イプソスは、顧客が提供するサンプルや、イプソス・オンラインのパネリスト、およびオフラインの調査回答者についても、これと同じポリシーと配慮を適用しています。

― 従業員のために行っていること：

従業員の個人情報へのアクセスは厳しく規制されており、アクセスできるのは人事管理の担当スタッフのみとなっています。

３．　従業員のトレーニング

イプソスは、2018年3月から4月にかけて、広範に及ぶ従業員トレーニングプログラムをスタートしました。このプログラムをもとに、**イプソスグループ全体にわたって、高い水準でデータ保護の認知・データ保護の遵守**が実行できるように取り組んで参ります。イプソスの顧客は、「イプソスの従業員はGDPRや、その他の該当するデータ保護法に準拠している」と、期待を寄せています。これに応えられるよう、イプソスは、担当スタッフに対し、**世界各地でデータ保護に関するトレーニングプログラム**を実行して参ります。

４．　暗号化

イプソスは、特に従業員のノートパソコンに対して、**さまざまな暗号化ソリューション**を導入しています。

ノートパソコンの（ソフトウェア）アプリケーションについては、特定のパネルアプリケーションのほか、健康上のデータ、政治的意見など、特別（機密）カテゴリーの個人情報を含むデータベースを暗号化する対策を講じています。

最後に従業員の個人情報に関しては、「iTalent」というイプソスの主要人材管理システムが、完全に暗号化されています。

５．　サプライヤー

イプソスには、イプソスのデータ保護要件に準拠できる能力があるかどうかをもとに、個人情報処理を行うサプライヤーを選定できる手順があります。つまり、全てのサプライヤーは、少なくとも、イプソスが顧客と締結するデータ保護条項と同等に厳しい条項を含む契約を交わさなければならないほか、いかなるサプライヤーも、適切な保護措置、あるいは顧客の同意なしに、個人情報をFEA外に転送することはできません。また、イプソスのサプライヤーは、イプソスの承認を得ることなく、下請けの処理業者に個人情報処理サービスの一部を再委託することはできません。

６． データ転送

イプソスは、イプソス内、およびイプソスのサプライヤーとの間で国境を越えてデータの転送が行われることについて、契約上の対策をいくつか導入しています。情報保護が適切なレベルに達していないと思われる国でデータの転送が必要となる場合、イプソスは、個人情報を保護する目的で適切な技術的・組織的措置が導入され、EU標準契約条項が必ず設けられるようにしています。

このように、イプソスは引き続き、顧客、調査回答者、従業員の個人情報の保護にコミットして参る所存です。ご質問やさらに明確な情報をお知りになりたい場合は、イプソスのチーフ・プライバシー・オフィサー、Rupert van Hullen Rupert.vanhullen@ipsos.comにご連絡ください。適切な担当者から質問に対する回答がされるよう手配いたします。

GAME CHANGERS

« Game Changers » is the Ipsos signature.

At Ipsos we are passionately curious about people, markets, brands and society.
We make our changing world easier and faster to navigate and inspire clients to make smarter decisions.
We deliver with security, simplicity, speed and substance. We are Game Changers.

Ipsos is listed on Eurolist - NYSE-Euronext.
The company is part of the SBF 120 and the Mid-60 index
and is eligible for the Deferred Settlement Service (SRD).

ISIN code FR0000073298, Reuters ISOS.PA, Bloomberg IPS:FP
www.ipsos.com